

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 40

1972. 7. 19

福岡市東区大字箱崎
九州大学大型計算機センター
共同利用掛(TEL 092-64-1101)
内線 2256

目 次

- ◇ センター業務案内の一部変更について..... 1
- ◇ ファイル利用のためのマクロ一覧..... 1
- ◇ プログラム相談について..... 2
- ◇ 計算業務の停止について..... 2
- ◇ 処理プログラムのレベルアップについて..... 3

◇ センター業務案内の一部変更について

下記の問い合わせは業務受付(内線2257)にお申し出下さい。

1. 計算依頼、穿孔依頼に関すること。
2. 計算結果の返却に関すること。
3. センター内端局、オープンパンチ室、デバック室利用に関すること。
4. 他センタージョブの受付返却に関すること。
5. その他利用に関すること。

◇ ファイル利用のためのマクロ一覧

ファイル利用の手引(暫定版)に掲載されているマクロには、ファイルの機番とボリューム通番を指定するパラメータが明記されていません。従って、E. 042に登録されているファイルの場合は必ず指定しなければならないにもかかわらず、利用者の方に徹底されていなかったようです。ここにUNIT = 装置機番、VOLNO = ボリューム通番を追加したマクロの紹介をします。

```
$ CATALOG FILENAME=専用ファイル名 [, MACROSTEP =n] [, OUTPUT  
=REMOTE] [, UNIT=装置機番] [, VOLNO=ボリューム通番]
```

```
$ CHANGE FILENAME=専用ファイル名, TRACK=n, WORKT RACK=n
```

[, MACROSTEP=n] [, OUTPUT=REMOTE]
 [, UNIT=装置機番] [, VOLNO=ボリューム通番]

\$ UPDATE \$ CHANGEと同じ

\$ PRINT \$ CATALOGと同じ

\$ PUNCH \$ CATALOGと同じ

\$ DELETE FILENAME=専用ファイル名、TRACK=n [, MACROSTEP=n]
 [, OUTPUT=REMOTE] [, UNIT=装置機番] [, VOLNO=ボ
 リューム通番]

\$ F. DA UNINO=nn, FILENAME=専用ファイル名 [, UNIT=装置機番]
 [, VOLNO=ボリューム通番] [, RECORDSIZE=n]

\$ A. DA \$ F. DAと同じ

\$ DAFILE FDNAME=ファイル定義名、FILENAME=専用ファイル名
 [, UNIT=装置機番] [, VOLNO=ボリューム通番]

注) E. 040 に登録されている場合は、UNIT=装置機番、VOLNO=ボリューム通
 番の指定を省略してもかまいません。

◇ プログラム相談について

プログラム相談を夏季期間、次のとおり変更実施いたしますのでご了承下さい。

7月31日(月)～9月9日(土)

毎日 午後1時半から3時半まで相談を行ないます。

なお、土曜日は午後のTSS相談のみ行ないます。

◇ 計算業務の停止について

8月14日(月)、8月15日(火)は空調保守のため計算機の運転を停止しますが、これに伴う
 業務スケジュールは下記のとおりです。

	8/14(月)	8/15(火)	8/16(水)
計 算 処 理 業 務	停 止		
ジ ョ ブ 受 付	停 止		
ク ロー ズ ト ・ パ ン チ 受 付	停 止		
オ ー プ ン パ ン チ 室	予 約 解 除 フ リ ー 使 用		平 常 通 り
プ ロ グ ラ ム 相 談	休 止		

◇ 処理プログラムのレベルアップについて

7月25日よりFORTRAN, BACCUS, BELL, LINEDがレベルアップされます。

これにより従来障害であったもののうち、以下の点が修正されました。

FORTRAN

V-4, L-1からV-4, L-2にレベルアップされました。

<修正内容>

1. G変換の出力で値がF変換とE変換との境にあり、四捨五入すると変換が変わる場合、うまくいかなかったのが、正常に実行するようになりました。
2. SOURCE GA NAIというエラーメッセージがELEMENT GA NAIというエラーメッセージに変更されました。
3. FORTRAN 文法編では
変数名の型の優先順位は
 1. 型宣言文
 2. 組込み関数または基本外部関数名を持つ型
 3. IMPLICIT 文で定まる型
 4. 暗黙の型宣言となっていますが、従来は2と3が入れ換っていました。
今度のレベルアップで文法編通りになります。
4. DOループ内の入出力文にEND, ERR の指定がある場合、DOループがうまくいかなかったのが、正常に実行するようになりました。
5. FT730Z ERROR AT ① * INPUT DEVICE ASSIGNED ERROR. * ②
①のロケーションで発したfile名②に対する入力命令は装置が不相当である。
というエラーメッセージが追加されました。

BACCUS

V-2, L-3からV-2, L-5にレベルアップされました。

<修正内容>

1. 標準書式で出力する時に、2回目以降の変数の前後の空白がそのまま出力されていたのを、余分な空白は取り除くようにしました。
2. CALL文のパラメータに配列要素が指定されると正常に実行されなかったのが、正常に実行するようになりました。
3. CALL文のパラメータに外部サブルーチン名を指定するとアボートされていたのが正

常に実行するようになりました。

4. DEMAND 文で単純変数、配列名となっていた時のデータの入力が正常に行なわれていなかったのが、正常に入力されるようになりました。
5. AUTO状態でLOAD 文を実行すると正常に読み込まれなかったのが、正常に読み込まれるようになりました。
6. JP1500 で (終) のみ入力すると入力テキスト(本文)にゴミが入っていたのが修正されました。

BELL

V-2, L-3 から V-2, L-5 にレベルアップされました。

<修正内容>

1. CALL 文でサブルーチン名を与えないで、いきなり;をタイプインするとアボートしていたのを、エラーメッセージを出すように修正しました。
2. BACCUS と他の副プログラムの結合で汎用記号重複定義のエラーが発生していたのが、正しく結合するようになりました。

LINED

V-2, L-2 から V-2, L-3 にレベルアップされました。

<修正内容>

1. SUBSTITUTE 指令で、識別子の部分を修正しようとする、ループしていたのが、正常に実行するようになりました。
2. APPEND 指令で、何もデータを入れずに>Rとタイプインすると、アボートされていたのが、正常に実行するようになりました。
3. STOP指令で正しくリナンバーしなかったのが、正しくリナンバーするようになりました。